

大阪教育大学アセスメント・ポリシー

(目的)

1. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）、「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）、及び「入学者受入れの方針」（アドミッション・ポリシー）からなる学位プログラムの成果を把握し、評価する方法を定め、PDCA サイクルを用いた教学マネジメントの運用を通じて、大学教育の内部質保証に寄与しようとするものである。

(水準)

2. 学位プログラムは、履修する学生が各学位プログラムに定める到達目標を高い水準で達成することを、その目標とする。

(手法)

3. 学位プログラムの評価は、学位プログラムで定める到達目標への達成状況を測定し、成績・就職状況及びアンケートを総合して行うものとする。

なお、到達目標への達成状況の測定は、学修ポートフォリオに設置する学修成果への到達度を準用する。

(成績評価)

4. 各授業科目では、カリキュラム・ポリシーに基づきシラバスに記載している方法と「大阪教育大学試験及び成績に関する規程」に定める基準により、厳格に成績評価を行うものとする。特に、同一名称複数開講科目については、到達目標や成績評価基準に関して事前に確認を行うものとする。

(調査・分析)

5. 学位プログラムの評価に活用するアンケートは次に掲げるものとし、到達目標への達成状況との分析を通じて、学位プログラムの改善に役立てることを目的として、効果的・効率的に実施する。

- (1) 入学生アンケート
- (2) 在校生アンケート
- (3) 卒業生アンケート
- (4) 学生による授業評価アンケート
- (5) 授業改善教員アンケート

(単位)

6. 学位プログラムの評価は、第3項に規定する方法で次の単位で行うものとする。

- (1) 大学単位
- (2) 学位プログラム単位

(評価結果と改善)

7. 本学は、学位プログラムの評価結果に基づく学位プログラムの改善を行うとともに、学内外へ公表するものとする。